

## 事業報告書 (HP 公開用)

【「私」を奪う DV～逃げない DV 被害者の心理的特徴を理解する～】

日時	平成 28 年 11 月 15 日 (火) 14:30～16:30
目的	住民と接する機会の多い医療機関・福祉事務所・保健所・学校・保育所等の職員を対象に、必要な実践的な手法や情報を提供し、被害者の人権、DV の特性等に関する理解を深め、被害者を適切な援助の場へ導くために必要な知識を得ることを目的とする。
対象	医療機関・福祉事務所・保健所・学校・保育所・幼稚園等の職員、教育関係者（養護教諭、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー等）、相談員など
講師	竹下 小夜子（たけした さよこ）氏 （精神科医 さよウィメンズ・メンタルクリニック院長）
会場	沖縄男女共同参画センター「ていする」1Fホール
定員	100 名 （ 申込者数 : 72 名 ）
受講者数	74 名 （ 女性 68 名 ・ 男性 6 名 ）
講演内容 (概要)	<p>さよウィメンズ・メンタルクリニック院長の竹下小夜子氏が、医療や教育関係者、相談員などを対象に DV について講義した。</p> <p>最初に DV の定義について、「ありとあらゆる力を用いて、パートナーを支配・従属させようとするのが DV である、パワーとコントロールが DV の本質」と確認。次に、DV が子どもに及ぼす影響や暴力に対する誤解や偏見、支配の手口について解説。これらを踏まえ、実際の支援を説明し、セイフティ・プランの明確化や、だれのための、何のための情報提供かを考え、被害者が救われる情報の提供を強調した。</p> <p>最後に講師自身が出会ったポスト・トラウマティック・グロース、心的外傷後の成長を示してくれた人たちが教えてくれたことを受講者全員と共有して講座を終えた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● DV の定義、DV データ</li> <li>● DV が子どもに及ぼす影響</li> <li>● 「暴力をめぐる誤解」を是正するために</li> <li>● DV ・虐待・ハラスメントなど不平等な人間関係における支配の手口</li> <li>● 被害者なぜ逃げないのか、DV が被害者に及ぼす影響</li> <li>● 支援の実際</li> <li>● 子どもの選択能力を育むために知ってほしいこと</li> </ul>
受講者の声	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いろいろと誤解をしている事がありました。今日は正しい情報を知る事ができて良かった。</li> <li>・「情報は力」という言葉がとても印象的でした。相談を受ける立場として、必要な情報が適切なタイミングで提供できるようもっと勉強していきたくと思いました。</li> <li>・思い込みや押し付けではなく、しっかり話しを聞き、自分で判断できるような寄り添いの支援をしていこうと思います。それが例え何度逃げと戻りを続ける被害者に対しても。</li> <li>・“社会通念”がいかに人間の心理面に影響を及ぼすか、改めて認識をさせられた講座でした。</li> <li>・DV 被害者への支援が分かり易く、簡潔で記憶にとどめておきやすい内容でした。すぐに使えると思います。再びこのような講座があれば参加したいです。</li> </ul>
主催	沖縄県・(公財) おきなわ女性財団